

# チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成22年7月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病虫害防除グループ

## 1 発生の状況

JPP-NETを利用して有効積算温度から算出したチャノキイロアザミウマ第2世代成虫の発生ピーク日は、平坦部では6月16日から6月21日、中山間部の稲武では第1世代成虫の発生ピークが6月15日でした。

黄色粘着トラップによる本種の誘殺数は、東浦町、南知多町、豊橋市では、6月中旬まではやや少なく推移していましたが、その後は概ね平年並の発生量となりました。なお蒲郡市では6月第3半旬から急増しました（図1）。これらは防除時期にあたる第2世代成虫発生時期に降雨が続き、適期に十分防除できなかったためと思われます。

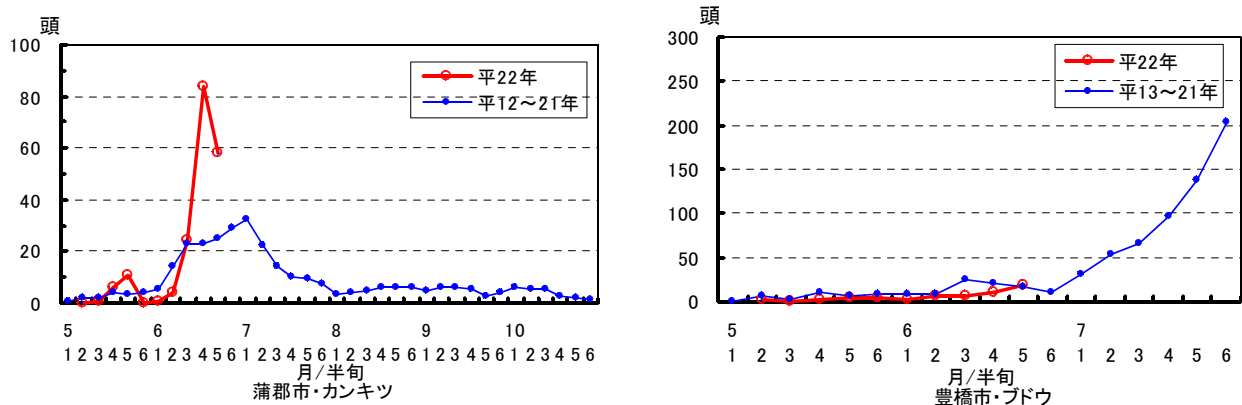


図1 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピークの予測と防除

中山間地を除いた地域における第3世代成虫の発生ピーク予測日は、7月5日から7月13日となっています（図2）。これは昨年より2～6日遅い予測です（参考）。

成虫発生ピーク時が防除適期ですので、発生の多いほ場では次頁の表を参考に防除しましょう。

今後は世代が進むに従い発生時期の幅が広がるため、防除適期がはっきりしなくなります。

参考 昨年の第3世代発生ピーク

東海：7/1	蒲郡：7/6
名古屋：7/1	豊橋：7/7
愛西：7/5	南知多：7/8
豊田：7/7	伊良湖：7/9
岡崎：7/6	稲武(第2世代):7/8



図2 チャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日 (JPP-NET)

表 チャノキイロアザミウマに使用できる主な防除薬剤と使用基準

作物	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	総使用回数
カンキツ	モスピラン水溶剤	2,000～4,000倍	14日	3回
	アドマイヤーフロアブル	2,000～5,000倍	14日	3回
	MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	14日	2回
	ベストガード水溶剤	1,000～2,000倍	7日	3回
ブドウ	アドマイヤーフロアブル	5,000倍	21日	2回
	アディオン水和剤	2,000～4,000倍	7日	5回
	アーデント水和剤	1,000倍	7日	4回
カキ	MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	14日	2回
	モスピラン水溶剤	2,000～4,000倍	7日	3回
	アドマイヤー水和剤	1,000～2,000倍	7日	3回
	アグロスリン水和剤	1,000～2,000倍	前日	3回